

# 油脂産業論文 執筆要領

一般財団油脂工業会館 事務局

2026年1月 作成

## 1. 論文の趣旨

本論文は、油脂に直接かかわる企業のみならず、油脂を原料とした誘導体関連企業、ならびに油脂関連製品を使用する企業または上記内容に関連する研究機関や団体を主な対象とし、油脂産業全体が抱える課題、または今後議論すべき重要な論点について考察し、実務的かつ建設的な提言を行うことを目的とする。

学術的な研究成果の発表を目的とするものではなく、産業論文として、業界への示唆や波及効果を重視する。

## 2. 論文テーマおよびサブタイトル

論文テーマは、当財団が指定するテーマに基づくものとする。

サブタイトルは、執筆者が論文内容を的確に表すものを自由に設定する。

## 3. 文字数

本文の文字数は概ね 11,400 字程度とする。(A4 サイズ、10 ページ相当)

但し、表・グラフ・図中及び引用文献の文字数は、本文文字数に含めない。

各章の文字数配分については、全体構成を踏まえ、適切に調整すること。

## 4. 論文構成 (推奨)

論文は、以下の構成を基本とする。但し、文字数はあくまでも目安である。

【要旨】(400～600 字程度)

論文の目的、主な論点および結論を簡潔にまとめる。

【背景・問題意識】(1,100～1,200 字程度)

テーマ設定の背景、油脂産業を取り巻く環境変化、課題認識を整理する。

【現状分析】(2,500～3,000 字程度)

業界の現状、課題の構造、関連する事例やデータを用いて分析を行う。

【課題の本質および論点整理】(2,000～2,500 字程度)

現状分析を踏まえ、課題の本質や業界としての論点を明確にする。

【提案・解決の方向性】(2,500～3,000 字程度)

課題解決に向けた考え方や具体的な提言を示す。

【まとめ・今後への示唆】(1,000～1,200 字程度)

論文全体を総括し、油脂産業全体への示唆や今後の検討課題を示す。

【引用文献】(文字数には含まない)

引用部分と自分の意見を明確に区別し、引用した著作物の出典を明記する。

※ 上記構成はあくまで推奨であり、論文の内容に応じて調整して差し支えない。

## 5. 記述上の留意事項

特定企業の宣伝・営業活動を主目的とした記述は避けること。

専門用語や略語を使用する場合は、初出時に簡潔な説明を付すこと。

事実、データ、引用等を用いる場合は、出典を明記すること。

客観性および論理性を重視し、読み手にとって分かりやすい表現を心がけること。

## 6. その他

本執筆要領に定めのない事項については、当財団の判断によるものとする。

以上